

令和8年度学校経営計画書

学校名 三次市立田幸小学校
校長名 藤井俊介

I 学校の状況

学級数	5学級	児童数	48名	教職員数	11名
メールアドレス	takoh-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/tako/				

II 学校教育目標

塩町中学校区	『確かな学力を身に付け、他者との関わりを通して 自らを伸ばそうとする子供の育成』
田幸小学校	ふるさとを愛し 主体的に学ぶ ポプラっ子の育成 ～タンポポのように、強く、美しく、軽やかに～

【めざす子ども像】

強く： ねばり強く努力する子
美しく： 美しい挨拶ができる子
軽やかに： 軽やかに行動できる子

III 使命・存在意義（ミッション）

- 自分たちが学んでいる地域に愛着をもち、この地域に貢献しようとする志をもった児童を育成する。
- 夢や目標の実現に向かって、他者と協力し、主体的に学び続ける児童を育成する。

IV 重点事項（努力点）

小中9年間を通して児童生徒に特に身に付けさせたい力を次のように整理し、塩町中学校区の小中5校で連携しながら組織的に取組を進める。

- 表現力…**自分の意思・意見を相手にわかりやすく伝える力**
- 主体性…**主体的に学び、自らの進路を実現する力**
- 協働性…**互いの良さを引き出しながら協働し、持続可能な社会づくりに貢献する力**

本校は今年度も「思考力・判断力・表現力を高める算数科授業の創造～児童が主体的に学ぶ複式・少人数学級の授業づくり～」を研究主題とした取組を継続して推進する。具体として、算数科で取り組んできた「主体的な学び合い」の場を更に効果的なものに高めるとともに、児童の学習状況に応じた ICT 機器の効果的な活用によって、指導と評価の一体化を図りつつ主体的な学びの基盤を培っていく。

また、ふるさとに愛着をもち貢献しようとする児童の育成に向けて、地域連携を強化し、生活科や総合的な学習の時間等を使って地域の人々と協働する場を計画的に取り入れていく。

V 中心価値・行動規範

【めざす教職員像】 ○高い倫理観と豊かな人間性をもった教職員 ○連携・協働して職務を遂行できる教職員 【めざす学校像】 ○安全・安心な学校 ○夢や希望を育む学校 ○地域ととともにある学校

VI 現状分析と今後の取組

令和7年度の評価項目と達成値	7月	2月	結果
児童アンケート「協力して学び合う学習ができています」の肯定的評価（目標値 90%以上 ）	85.4%	95.1%	9.7%△
児童アンケート「授業がわかる」の肯定的評価（目標値 90%以上 ）	87.8%	87.8%	-
算数科の単元末テスト平均が70点以上、または前回を上回る児童（目標値 90%以上 ）	89.2%	91.5%	1.3%△
学年度読書月目標を達成できた児童（目標値 90%以上 ）	73.2%	73.1%	0.1▼
I C T機器を使った学習活動を行う（目標値 週5回以上 ）	100%	100%	☆

「学び合い」の自己評価が向上したのは、児童が主体的に学ぶ複式型授業について系統的・組織的に研究・実践を進め、授業スタイルが定着しつつある結果と考えられるが、授業理解やテスト結果が比例して伸びていない理由を分析し、今後の改善に生かしていく必要がある。情報機器については、日常的に授業で利用されるようになったが、より効果的な利用や主体的な学びに生かす方法を個々の児童に習得させるため、読書活動も含めて校内研修の充実を図り、教職員のスキルや指導力向上を図っていきたい。

令和7年度の評価項目と達成値	7月	2月	結果
児童・保護者アンケート「挨拶」の肯定的評価（目標値 90%以上 ）	90.2%	95.0%	4.8%△
	82.1%	73.7%	8.4%▼
50m走、シャトルランの自己記録を更新した割合（目標値 80%以上 ）	75.6%	79.5%	3.9%△
メディアコントロールの目標を達成した児童（目標値 90%以上 ）	43.9%	48.7%	3.8%△

児童会が週3回行っている挨拶運動等の地道な取組によって、はっきりした声で挨拶や返事ができる児童は多い。ただ、時間、場所、相手に応じた挨拶が臨機応変できる児童はまだまだ少数である。挨拶をする目的やその効果を自覚し、自ら考えて挨拶ができるようになるまで、様々な機会を利用して指導を続け、人間関係力の基礎を培っていく。

走力の向上に向けて、地域人材や地域行事も活用しながら、計画的に取組を進めることができた。生涯スポーツ、地域ぐるみの健康づくり等も意識しながら、学校だけでなく地域や家庭とも連携した取組を積極的に推進していく。

メディアコントロールについては、休日利用の課題が大きいと、保護者と情報共有しながら、個々の家庭に応じたルールの見直しや児童の自覚を高める啓発活動等、工夫して取り組んでいきたい。家庭で設定したルールが守れない児童は固定化しつつあり、個別面談等による寄り添い支援やSC等とも連携した相談体制強化も進めていく。

令和7年度の評価項目と達成値	7月	2月	結果
地域と連携した教育活動の回数（目標 年30回以上 ）	25回	28回	計53回
児童アンケート「学校が楽しい」「学校で学んだことは自分の役に立つと思う」の肯定的評価（目標値 90%以上 ）	100%	100%	☆
	100%	100%	

各種便りの発信回数目標達成 ・学校だより・保健だより【月1回以上】 ・学級通信【月2回以上】 ・HP更新【月5回以上】	月平均	月平均	180%
	1.5回	1.3回	
	2.4回	8.2回	
	9.5回	5.4回	

農業体験学習や交流活動等、地域の人々との様々な関わりを通して、地域に関心や愛着をもった児童を育てていきたい。令和7年度始動した塩町中学校区コミュニティー・スクールの取組と連動しながら、更に地域と深く繋がる教育活動を共創し、「地域とともにある学校」づくりを推進する。また、こうした取組を積極的に発信し、保護者、地域とリアルタイムで共有・連携しながら、学校・家庭・地域の繋がりを強化し、持続可能な地域社会の基盤づくりに貢献する。

Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための取組・方策	評価項目
確かな学力	主体的、対話的で深い学びを推進し、学力の向上を図る。	学び合いを通じた思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○学習リーダーが進める授業づくり推進と教師のファシリテート力の向上 ・学年に応じた学習リーダーの役割を児童に自覚させ、適切な指導・支援・評価で学びを深める。 ○教職員の資質向上に向けた校内研修を組織的・計画的に実施し、日々の授業や生徒指導、学級経営等を通して、個々の児童の主体性や思考力・判断力・表現力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「協力して学び合う学習ができています」「授業がわかる」に対する肯定的評価を95%以上にする。【表現力・主体性・協働性】 ・算数科の単元末テスト平均が80点以上、または前回は上回る児童を90%以上にする。【知識技能】 ・年間で授業研究5回以上、情報教育6回以上、読解力向上、道徳、読書活動、体力向上、特別支援教育等、それぞれ2回以上研修を実施する。
豊かな心・健やかな体	自他の気持ちを考え、進んで行動できる児童を育てる。 心身の健康や体力向上にねばり強く取り組む児童を育てる。	相手意識、目的意識をもって表現できる子の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○場に応じたレベルの高い挨拶ができるよう、児童会を中心に挨拶運動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童及び保護者、学校関係者アンケートで「挨拶」の項目の肯定的評価の平均を95%以上にする。【表現力・主体性】 ・50m走、シャトルランの記録が向上した児童を80%以上にする。【主体性】 ・メディアコントロールウィークの目標を達成できた児童を70%以上にする。【主体性】 ・総合質問紙調査で【表現力、主体性、協働性】に関する回答結果を母集団平均以上にする。
		課題に気付き、改善のための目標を設定して、やる抜く子の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○走力、持久力向上を目指す。 ・自己記録更新の目標を立て、体育的行事や授業、朝会、休憩時間等を通して基礎体力向上を図る。 ○メディアコントロール重点取組週間を定期的に取り入れ、健康安全なメディア利用について家族で考え、自覚を高める。 ○塩町中学校区小中学校や地域と綿密に連携し、一貫した取組を推進する。 	
信頼される学校	児童・保護者・地域から信頼される「地域とともにある学校」を実現する学校経営を行う。	地域と繋がる生活科・総合的な学習カリキュラムの工夫改善と積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○地域と綿密に連携して生活科・総合的な学習等の充実・発展を図り、協働的な学習を進める。 ○各種便りやHPで計画的に学校の情報を発信する。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより【月1回以上】 ・保健だより【月1回以上】 ・学級通信【月2回以上】 ・HP更新【月5回以上】 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「学校が楽しい」「学校で学んだことは自分の役に立つ」と思う児童を95%以上にする。【主体性・協働性】 ・各種便りの発信回数目標を達成する。【主体性・表現力】